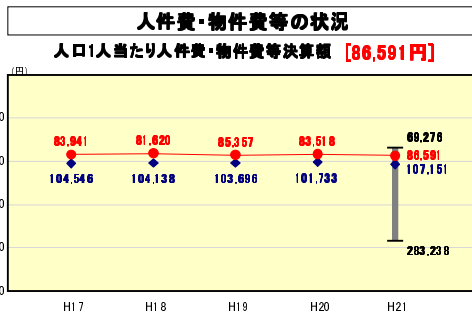
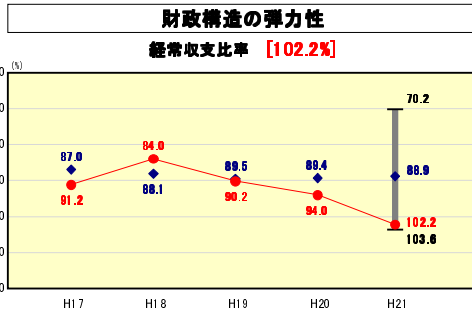
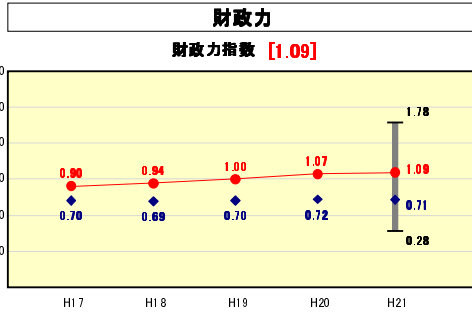


市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

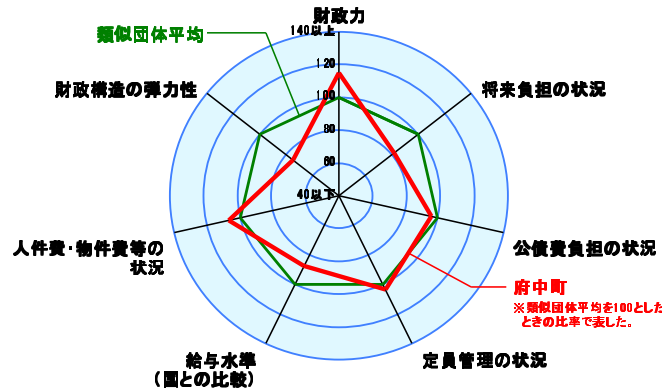
【財政力指数】

全国市町村や広島県市町の平均値をかなり上回るとともに、類似団体内の順位は8位と高い水準にあります。平成18年度以降の業績好調による法人町民税の大幅な増加等が作用し、平成19～21年度は不交付団体となりましたが、昨今の経済情勢を反映し、平成22年度は交付団体に転じています。

【経常収支比率】

100%を超え、全国市町村や広島県市町の平均値よりかなり高率となっているとともに、類似団体内の順位は最下位から2番目となっています。前年度と比較し、退職手当の増加等により経常経費一般財源総額は増加していますが、それ以上に法人町民税の減少等による一般財源総額の減少が大きく影響し、悪化の主たる要因となっています。今後も更に、町税等の確保の向上や費用対効果を考慮した事業の重点化を進め、経常収支比率の改善に努めます。

人面	50,781	人(H22.3.31現在)
口積	10.45	k㎡
標準財政規模	8,964,423	千円
歳入総額	14,940,993	千円
歳出総額	14,899,981	千円
実質収支	272	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

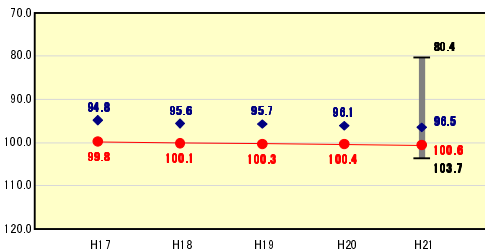
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレズ指数 [100.6]



【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】

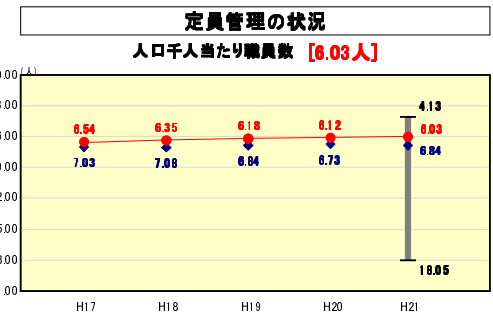
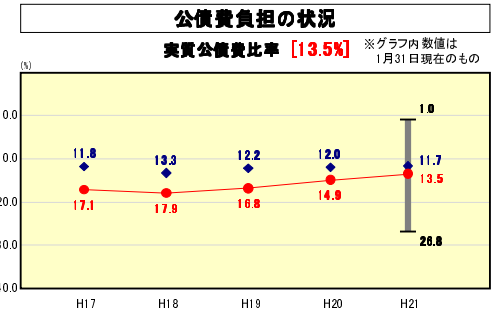
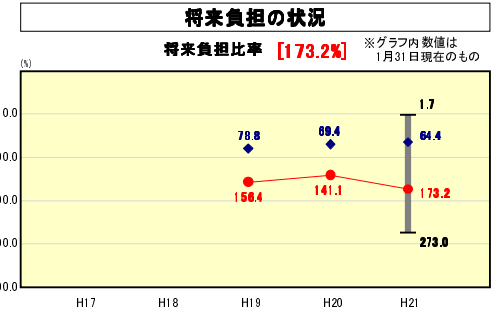
類似団体や全国市町村、広島県市町の平均値より低く、適正な執行状況となっています。「集中改革プラン」に掲げた各種項目を着実に実施した結果を反映しており、今後も引き続きその継続に取り組みます。

【ラスパイレズ指数】

類似団体や全国市町村の平均値より上回っています。また、経験年数階層の変動等による職員構成の変動に伴い、前年度より増加しています。国や県の制度を踏まえながら職員給与の適正化に努めます。

【将来負担比率】

類似団体や全国市町村、広島県市町の平均値より高率となっています。前年度と比較し、府中文化交流センターの整備等に伴う地方債の増加や、標準財政規模の著しい減少により、高率となりました。今後も更に、計画的な負債額の推移に努めるとともに、財政の健全化を図ります。



【実質公債費比率】

広島県市町の平均値よりは低いものの、類似団体や全国市町村の平均値よりは高く、実質的な公債費の大きさを示しています。公債費負担の適正化等により、平成18年度の17.9%をピークにそれ以降は徐々に改善しており、今後も中長期的な財政見通しを踏まえた計画的な事業執行に努めます。

【人口千人当たり職員数】

類似団体や全国市町村、広島県市町の平均職員数のいずれに対しても、少ない職員数となっています。「定員適正化計画」を着実に実施した結果を反映しており、今後も効率的な行政運営へ向けて、職員数の適正化に努めます。